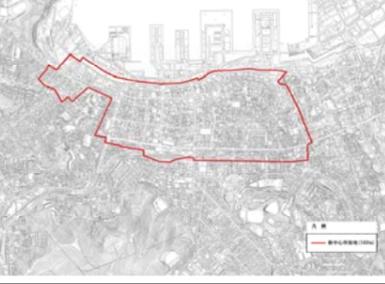


# 小樽市中心市街地活性化基本計画の概要

「街なか活性化計画」の概要（平成11年度策定）	中心市街地の現状	小樽市中心市街地活性化基本計画（平成20年7月9日認定）								
<p><b>1. 中心市街地の位置・面積</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■JR小樽駅を中心として概ね商業地域及び近隣商業地域を含む次の区域</li> <li>・南北方向は、南は市道新通線を境として南樽地区を含み、北は手宮地区までとする。</li> <li>・東西方向は、東は臨港線及び北運河を、西は市道新通線及びJR線並びに市道西通線を境とする。</li> </ul>	<p>■居住人口（住民基本台帳 各年12月末）</p> <p>H元年 18,831人 ↓ H15年 15,189人 ↓ H19年 14,455人 ※18年で23%減、4年間で5%減</p> <p>■歩行者通行量（7地点平均）</p> <p>H15年 39,780人 ↓ H19年 29,627人 ※4年間で25%減</p> <p>■空き店舗（空き店舗率）</p> <p>H14年 50店（7.2%） ↓ H19年 67店（11.1%） ※5年間で17店（率で4%）増</p> <p>■小売商業販売額</p> <p>H9年 866億円 ↓ H16年 575億円 ※7年間で34%減</p> <p>■観光入り込み客</p> <p>H13年 470万人 ↓ H18年 414万人 ※5年間で12%減</p>	<p><b>方針・位置及び区域・目標</b></p>	<p><b>指標</b></p>	<p><b>事業</b></p>						
<p><b>2. 活性化の方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■にぎわいのある交流空間の創出</li> <li>■活力ある経済活動の促進</li> <li>■魅力ある都市機能の充実</li> <li>■快適な都市居住の確保</li> </ul>	<p><b>「街なか活性化計画」の検証</b></p>	<p><b>1. 方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■まちなかのにぎわいを創出する</li> <li>■まちなかで暮らす</li> <li>■まちなかで滞在する</li> <li>■まちなかの歴史的資源を活かす</li> </ul>	<p>■目標①の指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>現況値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中心市街地の歩行者通行量</td> <td>29,627人</td> <td>31,700人</td> </tr> </tbody> </table> <p>本市の商店街に居住者及び来街者を回遊させることは、新規業態・業種の導入を促し、空き店舗の解消や販売額の増加をもたらす。特に商業機能が集積している中心商店街に人を集めることは、中心市街地のにぎわい創出につながる。</p> <p>これを表す指標として、<b>中心市街地の歩行者通行量</b>を用いる。</p>	評価指標	現況値	目標値	中心市街地の歩行者通行量	29,627人	31,700人	<p>■目標①の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小樽駅前第3ビル周辺地区第1種市街地再開発事業（マンション、ホテル）</li> <li>・大規模小売店舗立地法特例区域指定の要請</li> <li>・歩行者用案内標識の整備事業</li> <li>・にぎわう商店街づくり支援事業</li> <li>・商店街等での各種イベント開催ほか</li> </ul>
評価指標	現況値	目標値								
中心市街地の歩行者通行量	29,627人	31,700人								
<p><b>3. 活性化の目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■求心性、中心性を高める都市基盤整備の促進</li> <li>■親しみと魅力あふれる商業機能の強化</li> <li>■くらしと経済活動を支える業務機能の強化</li> <li>■まちの活力を生み出す定住人口の回復</li> <li>■小樽らしさを演出する地域資源の活用</li> <li>■まちなかにぎわいをつくり出す交流人口の増加</li> </ul>	<p>（目標達成状況の検証）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■商業機能の強化を目指したが、市民や観光客の商店街への回遊が十分でなく、また、閉店等により必要な業種が不足した</li> <li>■定住人口の回復に至らなかった</li> <li>■交流人口の増大を目指したが、「通過型観光」で「宿泊滞在型観光」とならなかった</li> <li>■地域資源を活用した新たな拠点づくりが進まなかった</li> </ul>	<p><b>2. 位置及び区域</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■中心市街地の境界 北側…市道西通線、手宮川通線 東側…小樽運河 南側…市道住初線 西側…JR小樽駅、市道新通線に囲まれた区域とする。</li> <li>■区域の面積 180ha</li> <li>■区域図</li> </ul> 	<p>■目標②の指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>現況値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中心市街地の居住人口</td> <td>14,455人</td> <td>15,000人</td> </tr> </tbody> </table> <p>本市の地形的特徴から、高齢者等が冬期間でも快適に暮らせるためには、中心市街地での居住が必要である。</p> <p>これを表す指標として、<b>中心市街地の居住人口</b>を用いる。</p>	評価指標	現況値	目標値	中心市街地の居住人口	14,455人	15,000人	<p>■目標②の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小樽駅前第3ビル周辺地区第1種市街地再開発事業（マンション）</li> <li>・病院・高齢者住宅整備</li> <li>・空き家バンク事業ほか</li> </ul>
評価指標	現況値	目標値								
中心市街地の居住人口	14,455人	15,000人								
<p><b>4. 主な事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■稲北地区市街地再開発事業</li> <li>■中央通地区土地区画整理事業</li> <li>■都通り商店街環境整備事業</li> <li>■花園銀座商店街環境整備事業</li> <li>■商店街ポイントカード事業 等</li> </ul> <p>※全体事業52事業中39事業が完了もしくは実施中 75%の進捗</p>	<p><b>3. 目標</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①回遊性を高めることによる、まちなかのにぎわい創出</li> <li>②居住環境の整備等による、まちなか居住の促進</li> <li>③宿泊滞在型観光への転換による、まちなかでの宿泊の促進</li> </ol>	<p>■目標③の指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>現況値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中心市街地の宿泊客数</td> <td>438,846人</td> <td>455,000人</td> </tr> </tbody> </table> <p>本市にとって観光は基幹産業の一つであり、観光客の入り込みに伴う経済波及効果は多大なものがあり、さらに増大させるには宿泊滞在型への転換が不可欠である。</p> <p>これを表す指標として、<b>中心市街地の宿泊客数</b>を用いる。</p>	評価指標	現況値	目標値	中心市街地の宿泊客数	438,846人	455,000人	<p>■目標③の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「小樽雪あかりの路」「小樽ロングクリスマス」等のイベント</li> <li>・しりべしiネット・iセンター</li> <li>・観光宣伝誘致対策事業</li> <li>・「小樽ファンが支えるふるさとまちづくり寄附条例」の活用</li> <li>・歴史的建造物保全事業</li> <li>・旧国鉄手宮線活用検討事業ほか</li> </ul>	
評価指標	現況値	目標値								
中心市街地の宿泊客数	438,846人	455,000人								
<p><b>5. TMOによる事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■商店街空き店舗対策事業</li> <li>■商店街夜のにぎわいづくり事業</li> <li>■都通り商店街環境整備事業</li> <li>■花園銀座商店街環境整備事業</li> </ul>	<p>■目標③の参考指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>現況値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中心市街地の歴史的建造物を活用した施設の利用者数</td> <td>3,925千人</td> <td>4,370千人</td> </tr> </tbody> </table> <p>本市独特の景観を形成する歴史的建造物の活用も観光客の増加をもたらす、中心市街地の宿泊客数の増加に繋がる。</p> <p>これを表す指標として、<b>中心市街地の歴史的建造物を活用した施設の利用者数</b>を参考指標に設定する。</p>	評価指標	現況値	目標値	中心市街地の歴史的建造物を活用した施設の利用者数	3,925千人	4,370千人			
評価指標	現況値	目標値								
中心市街地の歴史的建造物を活用した施設の利用者数	3,925千人	4,370千人								